

群馬県立 勢多農林高等学校

テーマ

既習範囲の復習

目的

基礎学力の向上



今 哲哉先生（緑地土木科）

「この取り組みをはじめたきっかけ」
 以前勤務していた学校に入学してきた生徒が、有名私立大学に進学したいということで自分で勉強する時にスタサブを使ってひたすら勉強して合格したことがありました。そのため、効果的な教材だという印象はありました。それを実際本校の生徒全員にやらせるというのは現実的じゃないとも思っていました。Chromebookとスタサブが全県立高

「ICT教材について」
 私自身、できれば積極的に活用したいと思っていました。私の場合は専門が農業土木なので、橋やダムなど現場見学に行った時に見たものを、改めて写真等で見せることで、理解が深まります。準備は大変ですが、一度準備をしまえば繰り返し使えるというメリットや、生徒の興味・関心の向上に役立つところも大きい理由の1つです。本校は、もともと情報処理系のコースがあったこともあり、Chromebookの使用については教務主任と情報担当の先生を中心に、積極的に使いました。という土壌があったように感じます。

群馬県立勢多農林高等学校では、入学時からの課題である基礎学力向上を目的に、スタサブリを活用しています。学年主任の今哲哉先生に、正・副担任の先生と学年団一丸になって取り組んだ内容を具体的に伺いました。

校で利用できることが決まり、教員の負担が少ない到達度テストの連動課題配信を教えてくださいました。
 本校の生徒も入学時の学力は高くはないのですが、進路を考えて学習指導をしていかならぬと思った時に、以前の経験からこれなら本校の教員の負担や生徒の取り組みやすさを鑑みても、ピッタリだと感じました。

「実際の取り組み」
 まず担任の先生方に「1つ上の学年と比べて、学力が低い」ということを、到達度テストの結果をもとに伝えました。配信は自分が行うことに決め、やらない子の指導を正・副担任の先生にお願いしました。最初は学年一斉にログインをし、正・副担任の先生がLHRやクラスの時間を使って和気藹々とスタサトして下さいました。そこから取り組み習慣へと繋げて下さったのが良かったと感じています。

生徒が継続できる方法を、正・副担任の先生と相談して決めました。問題数は1項目くらいなら部活に加入している生徒も無理なくできるんじゃないか？ということで、1教科1項目ずつ配信をしました。また、火曜日に配信をして、次の週の月曜日までに提出をするというサイクルも決めました。正・副担任の先生には、月曜の朝に取り組み状況を確認することと、火曜の朝に新しい課題が配信されたことを伝えることの2点を行ってもらいました。配信は自分が担当していましたが、予約ができて定期テストの間の4・5回分を10分、20分で設定できたことは、想定していたよりも楽でした。

実際の取り組み

①学年主任 → ②③正・副担任 → 生徒は火曜～月曜の好きなタイミングで取組む

取組の流れ

- ①学年主任：火曜日に連動課題を配信する（配信されるよう、予約をしておく）
- ②正・副担任：火曜日に配信されたこと生徒に声掛ける
- ③正・副担任：月曜の朝に提出を確認し、未取組の生徒に声をかける

群馬県立勢多農林高等学校
 Gunma Prefectural Seta Norin High School

【学校情報】
 1908年、勢多郡立農林学校として開校されました。2021年度に学科改編が行われ、植物科学科・植物デザイン科・動物化学科・緑地土木科・食品科学科の5学科で農業に関する専門的な知識を学べる実業高校です。

「生徒の変化感」
 生徒もスタサブで勉強するということに慣れました。火曜日に届くことが分かったため、火曜の朝の学校が始まる30分前に来て、取り組んでいる生徒もいます。
 また、到達度テストの結果でも、入学時には1つ上の学年より平均点が低かった教科があったのですが、2年春時点で高くなりました。学習の姿勢も、宿題にはちゃんと取り組むという層が増え、ほとんど勉強しない層の割合が減りました。
 勉強はできるに越したことはないと思いますが、勉強させたいと思った時に、スタサブリはうってつけだと思っています。